

## 次世代火山研究推進事業 課題 C-1

### 鹿児島大学の参加機関への追加等について（メール審議結果の報告）

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト 次世代火山研究推進事業 課題 C-1「火山噴出物分析による噴火事象分岐予測手法の開発」において、常葉大学では、桜島火山、諏訪之瀬島火山、富士火山、霧島火山の火山噴出物について研究を進めてきたが、同大学の業務主任者である嶋野岳人 教授が令和5年10月に鹿児島大学に異動し、10月より同大学の石田明生 教授が業務主任者を務めている。業務主任者の異動にあたり、課題 C-1 代表機関の東京大学より、本年度における事業の成果を得るためには、鹿児島大学を参加機関として追加し、嶋野教授に引き続き事業に参画していただくことが不可欠であるとして、鹿児島大学の参加機関への追加について申し出があった。

鹿児島大学の参加機関への追加について承認が得られた場合には、鹿児島大学は、桜島火山と諏訪之瀬島火山の火山噴出物についての解析を進め、噴火事象分岐予測手法の開発業務を行う予定である。また、常葉大学は、令和5年度末まで引き続き参加機関として参画し、今年度を実施した業務の取りまとめを行う予定である。

本件について、上述のとおり課題 C-1 における鹿児島大学の参加機関への追加と、常葉大学の令和5年度末の参加機関からの離脱について、令和5年10月4日～10月11日にかけてメール審議を行い、10月12日付で、総合協議会の承認を得た。

